



ススキやコスモス、黄金色のお米。秋の気配を感じます。実りの秋です。極上の塩沢産べーマガ米、食してみてはいかがでしょうか？

◆野上公平遺作展

昨年亡くなられた南魚沼市出身の彫刻家・野上公平先生の遺作展を開催します。

先生には、私が美術館に勤め始めた頃から大変お世話になりました。制作においては厳しい姿勢で向かう先生ですが、美術館の運営に当たっては、多大なご指導とご協力をいただきました。平成19年に個展「彫刻家 野上公平展」を開催、平成26年には「二科会新潟県会員会友絵画彫刻展」の中心となって、企画と準備に御尽力くださいました。平成27年には、魚沼地域の美術活動の振興に大きな役割を果たした作家を取り上げた「美の先覚者たち展」に出品していただきました。

野上先生からは、当館のアドバイザースタップを創設当初から務めていただき、彫刻



「野上公平遺作展」は11月8日まで開催します

池田記念美術館 イケダビふれあい通信 10月号

H28年 No.75

分野についてだけではなく、新潟で活躍する作家についても、多くの助言をいただきました。先生は、新潟県美術家連盟理事長や、南魚美術協会会長を務めてこられました。地域において、芸術家が果たすべき役割を常に考えていらっしゃいました。ぜひ、遺作展をご高覧ください。(広田かおり)

◆活力のもと

人間がエネルギーを作り出す方法は2種類あるという。一つ目はミトコンドリア系、二つ目は解糖系と呼ばれる。

ミトコンドリア系の生産量が圧倒的に多いという。ミトコンドリアは糖質、脂質、タンパク質をもとに酸素と太陽光を使い、解糖系は酸素と太陽光を使わずに、糖質からエネルギーの基になるATP(アデノシン三リン酸)を造るといいます。ATPは中学の教科書にも出てくるらしいが、「生体のエネルギー通貨」と呼ばれている。

ミトコンドリアは生命草創期の細胞に、酸素を好む細菌が寄生して生まれたそうだ。解糖系は大昔から外敵に備えるために瞬発力に優れ、生存競争にも役立つ。これらの二つのバランスで我々の生命活動が成り立っているという。

このバランスは20〜50歳でバランスよく調和し、それより歳を取ると解糖系が減り、ミトコンドリア系が優位になってくるらしい。瞬発力のある力強さから、持久力のある穏やかな持続性が優位になってくるようだ。(岡西英孝)

◆櫻井幸雄さんのカレンダー

早いもので、今年もあと数か月になりました。時間のたつのが年々早くなっているように感じます。職場だけでなく、個人的にも気づわしい半年間でした。時間の速度について行けず、大切なことを忘れてしまっていないか心配になる今日この頃です。大事なことは必ずメモをとり失敗のないように心がけていますが、時にはメモの行方を忘れてしまうことも……。

テレビでは早くもクリスマスやおせち料理が取り上げられていました。どうしてそんなに急ぐのか不思議に思いましたが、時の経過の早さを考えるとこれも納得できます。

今年も、櫻井幸雄さんの「出番のないベンチ 2017年の壁掛けカレンダー」が届きました。毎年楽しみにしている方が多く、売り切れになる人気のカレンダーです。櫻井さんの可愛いお孫さんもベンチシリーズにモデルとして加わり、ほのぼのとした作品になっています。微笑ましく心温まる野球少年や少女の姿が、一年を通してお楽しみいただけます。ミュージアムショップで販売していますので、お早めどうぞ。(佐藤良子)

◆チームワークのチカラ

少し前の話になりますが、9月の始め、秋晴れの中、娘の中学校の体育祭がありました。役員をさせていただいている関係もあり、来賓席という特等席での観覧、ありがたい限りでした。娘の軍は紅軍。武士をイメージしてチーム一丸となって戦いに挑みました。応援パネルも武士が描かれ、ワンポイントコスチュームは、可愛らしい兜を紅のはちまきに付けての入場行進でした。きびきびとした行進はやはり小学生とは違う迫力でした。

各学年のリレーや競技、男子の騎馬戦、女子の綱引きなど、どの軍も素晴らしいチーム

ワークの力を発揮していました。私は一番応援合戦が好きなのですが、さすが中学生、歌に合わせた歌詞や振付など完成度が高く、本当に採点には悩みました。娘は無事、リレーで転ぶことなく、バトンミスもなく終わることができ、そして紅軍は準優勝をいただきました。閉会式では、生徒の皆さんが本当にいい顔をしていました。(山口加奈子)

◆秋の京都散策

遅い夏休みをとって、京都を散策してきました。京都には二十歳前に一年間住んだことがあり、その後も何度か訪れているのですが、今回ほど歩き回ったことはありませんでした。お上りさんよろしく、初めて京都タワーから京の町並みを俯瞰したり、数十年ぶりに南禅寺の疎水水道橋を見て、こんなに小さかったかなと遠い昔を思い出したりしたのですが、よく歩いた哲学の道をぶらぶらできなかったのは、少し残念でありました。

紫野の大徳寺に里帰りしていた国宝・狩野永徳の襖絵と、書院に奉納された千住博の青と白で描かれた「滝」には背筋が伸びました。祇園の何必館・京都現代美術館では「昭和という時代・木村伊兵衛展」を開催中で、「秋田おぼこ」の写真につられて、つい図録を購入したのでした。翌日、岡崎の細見美術館をのぞくと「京の琳派」展をやっていました。中村芳中のまん丸画とナール風書体の署名には笑ってしまったのですが、彼の画集を買い忘れたのは失敗でした。(高橋良一)

葉っぱ de アート in 池田記念美術館

10月30日(日)
10:00~16:00
参加費: 無料
※昼食はご持参ください
参加対象: 小学校4年生~

[講師]
長谷部昇(画家)
奥野正春(森林インストラクター)

八色の森公園内を歩いて葉っぱを集め、アートを作ります。楽しみながら、植物とアートについて学ぶことができます。参加ご希望の方は、美術館までお申込みください。

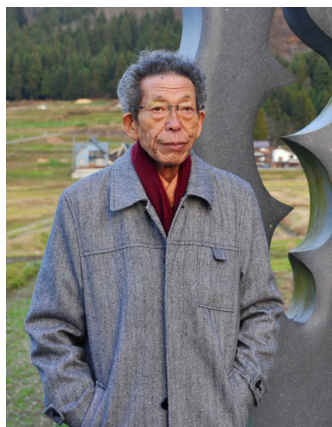
野上公平遺作展に寄せて

野上嘉子

夫が逝って一年余が過ぎました。一緒に暮らした時を思い出そうとしても、夢の中のように懐かしい笑顔が浮かんでくるだけですが、病気が進んで、ようやく生きているようだった2年間の姿は強く残っています。

彼は思ったことを上手に表すことはしませんが、人間関係、与えられた職務、自らの制作など、いずれにも、たとえ困難があっても真剣に向き合い、取り組む人でした。呼吸が苦しく辛い毎日の中でも、その生き方を通して、お見舞いに来てくださった方々との会話に表れていました。また、深夜まで机に向かい、自分が関わった様々を記録し、老いた家族が困らないようにと、家の中の工夫をし、必要な物が買い揃えてありました。

最後まで彫刻への情熱を失わなかった夫にとって、遺作展を開催していただくことは、どんなに嬉しいことかと思えます。企画してくださいました池田記念美術館の皆様にご感謝申し上げます。また、様々にご尽力いただいた二科新潟支部の方々をはじめ、多くの皆様にお礼申し上げます。



野上公平氏 [1934-2015]

池田記念美術館 展覧会・イベント情報

■キルト浪漫—菊池登美子作品展—

◎1階企画展示室、2階展示室I ◎10月11日(火)まで開催中

連日、多くの来館者で賑わっている小千谷市在住のキルト作家・菊池登美子さんの展覧会は10月11日(火)まで開催中。※ギャラリートークは会期中の土・日曜日にあります。

■ワークショップ「ピンクッションの制作」 ※参加料500円(別途入館料が必要となります)

最終回は10月8日(土)となります。

9:30~16:30(制作時間:約3時間)、先着順20人、裁縫道具持参

■野上公平 遺作展—石と木の彫刻宇宙—

◎1階企画展示室、2階展示室I ◎期間:10月15日(土)~11月8日(火)

昨年亡くなられた南魚沼市の彫刻家・野上公平氏(1934~2015)の遺作展。二科会会員で、1986年に特選受賞。後進の指導育成にも熱心で、南魚展や十日町石彫シンポジウムの開催に尽力。2000年に芸術文化振興で新潟県知事表彰、2006年には地域文化功労で文部科学大臣表彰を受賞するなど、南魚沼市の美術界発展に貢献された野上氏。今回の遺作展では、初期の木彫作品から晩年の石彫作品まで展示し、氏の業績を偲びます。

■野上公平氏を語る会 10月29日(土)13時30分~

ご遺族やご友人とともに野上公平氏の作品や人柄について語る会です。

■はっけよい大相撲—木村浩之展 日本画と力士像—

◎1階企画展示室、2階展示室I ◎期間:11月12日(土)~12月25日(日)

相撲を創作の中心に据え、日本画と力士像の作品で活躍する東京在住の画家・木村浩之氏の個展。力士たちの姿を力強く繊細に表現した作品は相撲の心技体に迫ります。

■書道講座 10月15日(土)10時~ 講師:佐藤海雲氏 ■仮名と細字(写経など)

南魚沼塩沢産コシヒカリ…今秋収穫の極上米をお届けします。 ※詳細は美術館へ

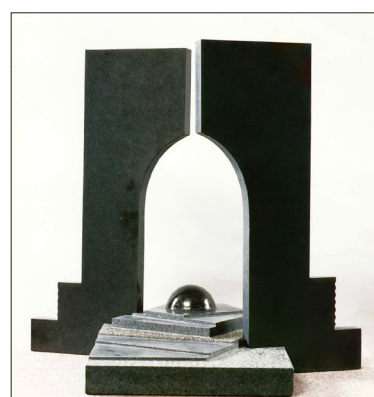
◎音楽&ワークショップ情報

■池田音楽クラブ「音を楽しむ集い」 ※参加無料です

10月23日(日)11:30~ ピアノ・フルート・ギター 14:00~ フォークソング

■ワークショップ「葉っぱ de アート in 池田記念美術館」

10月30日(日)10:00~16:00 小学校4年生~(参加無料) ※詳細は美術館へ



野上公平作品「繁栄 No.13」



木村浩之作品
左:黒姫山
上:立ち合い
下:力士像

年間パスポートがお得です!

料金3,000円で発行日から1年間有効。初回申込特典①入館招待券3枚、②イケビカフェで利用できるコーヒチケット2枚をプレゼントします。

池田記念美術館 南魚沼市浦佐5493-3 (八色の森公園内)
TEL 025-780-4080 / FAX 025-777-3815
【開館時間】9:00~17:00 (入館受付は16:30まで)
【入館料】一般 500円 高校生以下無料
【ホームページ】http://www.ikedart.jp

【10月の休館日】
※水曜日(5日、12日、19日、26日)
※11日(火)は最終日のため15時閉館となります。
※13日(木)、14日(金)は展示替えのため休館となります。